

南陽市 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成26年7月

南陽市通学路安全推進会議

1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、本市においても平成24、25年に各小・中学校の通学路において、関係機関と連携して危険箇所の合同点検を実施し、必要な対策内容について関係機関で協議し、計画的に対策を実施してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「南陽市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。本プログラムは、この会議で議論し、策定しました。

- ・国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所
- ・山形県置賜総合支庁 建設部 道路計画課
- ・南陽警察署
- ・南陽市 建設課
- ・南陽市教育委員会 学校教育課

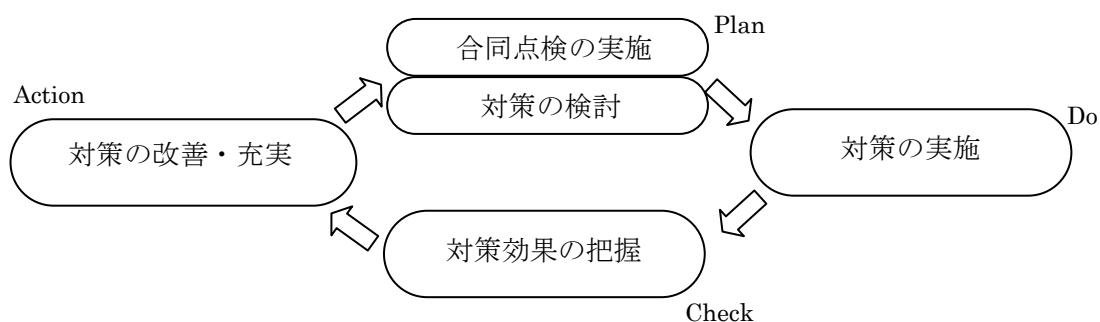
3. 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、平成26年度以降も合同点検を実施するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



(2) 定期的な合同点検

○各学校における点検

- ・毎年、3月～4月に各小・中学校で通学路の安全点検を実施し、危険箇所がある場合は、定められた期日まで教育委員会へ報告します。なお、上記期間以外であっても、危険箇所が確認された場合には、随時、教育委員会へ報告します。

○合同点検の実施時期等

- ・年に1回、6月～8月に定時の合同点検を実施します。
- ・上記に関わらず、通学路安全推進会議において緊急に点検を行うことが必要と判断した場合は、随時、合同点検を実施します。
- ・効率的、効果的に合同点検を行うため、通学路安全推進会議において、重点課題を設定し、合同点検を実施します。

○合同点検の体制

- ・学校、保護者、道路管理者、警察、教育委員会等が参加する合同点検を実施します。

(3) 対策の検討 (Plan)

- ・合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

(4) 対策の実施 (Do)

- ・対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握 (Check)

- ・合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、その対策効果を計る手法を検討し、把握に努めます。

(6) 対策の改善・充実 (Action)

- ・対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4. 箇所図、箇所一覧表の公表

点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小学校区ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

南陽市通学路交通安全プログラム 年間実施計画

月	区分	取り組み	実施期間・団体
4月	P	通学路における危険個所の抽出を依頼	推進会議事務局 → 各市立小学校
	P	通学路における危険個所を抽出	各市立小学校 各市立小学校PTA 市交通指導員 安全協会各支部 各町内会・自治会 等
	P	通学路における危険個所を報告	各市立小学校 → 推進会議事務局
5月	P	通学路における危険個所の精査及び 点検箇所の選定	推進会議事務局
6月	P	合同点検の実施	推進会議構成機関・ 関連団体
	P	対策内容の検討	推進会議①
7月	D	対策の実施	推進会議構成機関
8月			
9月			
10月			
11月	C	対策実施状況の確認（小学校への意見 聴取等）	推進会議事務局
12月	C・A	対策効果の検証・対策の改善	推進会議②

(必要に応じて実施)

月	区分	取り組み	実施期間・団体
1月	P	合同点検（冬期）の実施	推進会議構成機関・ 関連団体
	P	対策内容の検討	推進会議③
2月	D	対策の実施	推進会議構成機関
	C	対策実施状況の確認（小学校への意見 聴取等）	推進会議事務局
3月	C・A	対策効果の検証・対策の改善	推進会議④

設定 平成26年 7月30日

改正 平成28年 2月 2日